

宮城県感染症発生動向調査情報(第6週)

宮城県【平成25年02月14日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.2.4 ~ 2.10 ・ 第6週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り
宮城県(含む仙台市)

疾病	保健所								仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	累計	第3週	第4週	第5週	第6週			
水痘	7 1.40	21 2.10	13 2.60	1 0.50	1 0.33	8 1.60	3 1.50	35 1.35	89 1.53	◎→	◎→	◎→	◎			
流行性耳下腺炎	1 0.20	7 0.70				10 2.00		5 0.19	23 0.40	○→	レ→	○→	レ			
百日咳	1 0.20							1 0.02		→	→	→				
感染性胃腸炎	38 7.60	49 4.90	29 5.80	18 9.00	38 12.67	86 17.20	22 11.00	110 4.23	390 6.72	◎→	◎→	◎→	◎			
手足口病	1 0.20	2 0.20	15 3.00		2 0.67			2 0.08	22 0.38	→	→	→				
伝染性紅斑	3 0.60	1 0.10					3 1.50	7 0.12		→	→	→				
突発性発しん	1 0.20	9 0.90	6 1.20		2 0.67	3 0.60	2 1.00	18 0.69	41 0.71	○→	○→	○→	○			
ヘルパンギーナ										→	→	→				
インフルエンザ	270 33.75	309 20.60	131 16.38	30 10.00	87 17.40	154 19.25	82 20.50	973 23.17	2036 21.89	◎→	◎→	◎→	◎			
咽頭結膜熱	1 0.20		1 0.20	2 1.00				12 0.46	16 0.28	→	→	→				
流行性角結膜炎								3 0.50	3 0.25	→	→	→				
急性出血性結膜炎										→	→	→				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	18 1.80	1 0.20	2 1.00	2 0.67	22 4.40		35 1.35	92 1.59	◎→	◎→	◎→	◎			
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)										→	→	→				
無菌性髄膜炎										→	→	→				
マイコプラズマ肺炎	6 6.00		4 4.00				11 11.00	1 0.20	22 1.83	レ→	○→	○→	レ			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										→	→	→				
RSウイルス感染症	1 0.20	5 0.50			1 0.33	1 0.20		10 0.38	18 0.31	○→	○→	レ→				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	1	3	2	2	5		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向 【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.lhe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
	川崎病															
	不明発疹						1	4								

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
塩釜管内 男性1名、女性1名
石巻管内 男性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: アメーバ赤痢
塩釜管内 男性1名(第4週)
梅毒
塩釜管内 女性1名
仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告 36例(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【インフルエンザ】

仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。
塩釜、栗原、登米、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。
患者数は仙南、気仙沼管内を除き減少したが、今週登米管内と気仙沼管内の患者からインフルエンザウイルスA(H3(A香港型))が検出され、同様に仙台医療センターウイルスセンターでも仙台市内の患者よりウイルスが検出され続けている。また、入院患者報告数も多く、中には熱性けいれんを伴った小児や高齢者の報告もあることから、引き続き十分注意が必要である。
インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ一問一答」などを参考に
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。
患者数は横ばい状態となったが、先週に引き続き患者検体よりサボウイルスが検出された。また施設におけるノロウイルスが原因の集団発生も報告されているので今しばらく注意が必要である。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
インフルエンザ患者より
登米管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスA(H3) 遺伝子2件
気仙沼管内 第6週採取分 インフルエンザウイルスA(H3) 遺伝子2件
感染性胃腸炎患者より
登米管内 第5週採取分 サボウイルス 2件
手足口病患者より
宮城県: 51定点
仙台市: 42定点
登米管内 第5週採取分 A群コクサッキーウイルス(CA6型) 遺伝子1件
合計: 93定点

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第4週採取分 (1.21～1.27)	第5週採取分 (1.28～2.3)	第6週採取分 (2.4～2.10)
インフルエンザウイルスA(H3)	7件	0件	0件
インフルエンザウイルス解析中	4件	8件	6件
RSウイルス	4件	6件	6件
A群コクサッキーウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	0件	0件	1件

インフルエンザ関連情報(患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2012年 第50週	17.2	25.9	19.0	8.6	5.2	6.9	8.6	3.4	3.4	0.0	1.7	58
第51週	23.3	26.2	10.7	7.8	8.7	7.8	8.7	1.0	2.9	1.9	1.0	105
第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8	132
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第4週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い、都道府県別では新潟県(53.81)、千葉県(53.22)、長崎県(50.91)、埼玉県(49.53)、愛知県(46.65)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,782例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は増加した。宮崎県(1.31)、佐賀県(0.82)、山形県(0.70)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は増加した。富山県(5.52)、石川県(5.28)、鳥取県(4.21)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は増加した。熊本県(14.32)、宮崎県(14.14)、高知県(12.63)が多い。水痘: 報告数は増加した。福井県(3.77)、鹿児島県(3.42)、宮崎県(2.89)が多い。手足口病: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。福岡県(0.94)、熊本県(0.90)、鳥取県(0.63)が多い。伝染性紅斑: 報告数は増加した。岩手県(0.85)、富山県(0.31)、宮城県(0.29)が多い。百日咳: 報告数は2週連続で減少した。福岡県(0.04)、北海道(0.03)、千葉県(0.03)、滋賀県(0.03)、和歌山県(0.03)、高知県(0.03)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は2週連続で減少した。福岡県(0.11)、長崎県(0.11)、富山県(0.10)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は2週連続で減少した。山形県(0.90)、福井県(0.64)、岩手県(0.63)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は増加した。宮城県(2.75)、岐阜県(1.80)、沖縄県(1.57)が多い。